



# マテリアリティ等の見直しについて

～マテリアリティ・取組み指針・主な取組み・KPI～

2025年4月1日付 改定

南海電気鉄道株式会社

# マテリアリティ 1 「安全・安心・満足のさらなる追求」

## ● 取り組み指針

安全・安心は当社グループにおける事業の根幹であることを踏まえ、安全投資の計画的遂行や安全教育・BCP訓練の実施など、ステークホルダーの期待に応える施策を講じることにより、お客さま満足度の向上に努めていきます。また、今後も激甚化が想定される自然災害への対応を計画的に進めていきます。

## ● 主な取り組み

鉄道事業をはじめ各事業における安全の徹底

気候変動リスクなどの自然災害への備え

安心で快適な施設・サービスの提供

顧客志向の追求による顧客満足度の向上

## ● KPI

鉄道事業における有責事故等※ゼロ

※ 自社に責任のある鉄道運転事故、輸送障害（3時間以上の遅延または運休に限る）、インシデントなどによるもの

駅トイレのリニューアルを整備予定駅※で100%完了（2027年度）

※ 連立区間3駅を除く

車内防犯カメラを全車両に整備（2028年度までに）

顧客満足度※が継続的に前年度を上回ること

※ 2023年度までの定義：顧客満足度指数

2024年度以降の定義：サービス品質スコア

## マテリアリティ 2 「賑わいと親しみのあるまちづくり」

### ● 取り組み指針

なんばのポテンシャルを最大限に活かし、持続的な賑わい創出とエリア開発を進めます。さらに、ビジネス環境を充実させることで、訪れる人や働く人にとってより良い環境を創造します。また、これらの取り組みを沿線の重点エリアにも展開し、魅力的なまちづくりを推進します。

### ● 主な取り組み

グレーターなんばビジョンの具現化

オフィス・SC施設をはじめとする都市機能の拡充

沿線エリアにおける地域活性化

### ● KPI

無し

## マテリアリティ3 「豊かな暮らしの実現」

### ● 取り組み指針

学ぶ・働く・遊ぶ・子どもを育てる・老後を過ごすなど、人生の各シーンで必要となるサービスを提供し、すべての世代が安心できる豊かな暮らしを実現します。

### ● 主な取り組み

多様な世代と変化するライフスタイルに対応したサービス提供

スマートシティの実現

社会基盤を支える物流拠点の機能強化

### ● KPI

泉北ニュータウンの再生および泉ヶ丘駅前活性化計画の推進

# マテリアリティ 4 「夢があふれる未来づくり」

## ● 取り組み指針

インバウンド、大阪・関西万博、大阪IR（統合型リゾート）、なにわ筋線の開業などを契機として、交流人口の拡大を通じて沿線エリアのさらなる発展を目指します。また、社会の変化に合わせてデジタルとリアルを融合したサービスを提供し、ステークホルダーとの価値共創を通じて、活気あふれる多様性を尊重した共生社会を実現します。

## ● 主な取り組み

なにわ筋線の開業による新たな南北軸の形成

DXを活用した新たな商品・サービスの創出

交流人口の拡大を目指したツーリズム戦略の推進

外国人との共生社会の実現

ステークホルダーとの協働による新たな価値の創造

## ● KPI

minapitaポイント目標会員数 2027年度70万人  
(2024年度47万人)

# マテリアリティ5 「一人ひとりが幸せや充実・成長を実感できる環境づくり」

## ● 取り組み指針

社員一人ひとりが幸せや充実・成長を感じながら、全ての事業・業務で「南海版イノベーション」に取り組める環境をつくるために、積極的に「人への投資」を行っていきます。そして、ダイバーシティ&インクルージョンの浸透や多様な人財一人ひとりの活躍を通して、社会やお客さまの「なんかいね」につなげていきます。

## ● 主な取り組み

多様な人財と多様な専門性の向上

グループ共通の価値観浸透とスキル向上

いきいきと健康に働ける環境づくり

イノベーションに取り組む環境づくり

## ● KPI

女性管理職比率を10%程度まで向上  
(2030年度までに)

新規採用者に占める女性比率を30%程度まで向上  
(2030年度までに)

マネジメントコース新卒採用者に占める女性比率40%以上を維持  
(2026年度まで)

キャリア採用の管理職比率 2021年度時点における水準（7.4%）以上を維持

イノベーションスキル習熟度目標水準到達者が全体の30%  
(2026年度まで)

年次有給休暇取得率（単体）を90%以上維持  
(2026年度まで)

男性労働者の育児休業等と育児目的休暇取得率（単体）100%の実現  
(2030年度までに)

# マテリアリティ 6 「地球環境保全への貢献」

## ● 取り組み指針

気候変動リスクを当社グループ最大のリスクの一つと捉え、省エネ車両（鉄道・バス）の導入と再生可能エネルギーの使用を進め、モーダルシフトを促進するとともに、グリーンビルディングの取得・開発を拡大していきます。また、沿線エリア・事業エリア内で保有する森林の育成に取り組むことで、生物多様性の維持に努めていきます。

## ● 主な取り組み

気候変動への対応に向けたCO2排出量の削減、再生可能エネルギーなどの活用推進

循環型社会の実現

生物多様性の保全

環境マネジメントの深度化

環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大

## ● KPI

当社グループにおけるCO2排出量を2013年度比 46%以上削減  
(2030年度)



[2027年度目標] 2013年度比 37%削減

省エネ車両の導入割合を85%まで向上  
(2030年度)

新規開発物件における環境認証の取得

# マテリアリティ7 「誠実で公正な企業基盤強化」

## ● 取り組み指針

変化の激しい社会に機動的に対応していくため、スピード感のある意思決定と財務の適切な管理、その監督機能の強化に努めていきます。また、株主・投資家をはじめとするステークホルダーとの双方向のコミュニケーションに努め、適時・適切かつ公正な情報開示を行い、経営の透明性を高めていきます。

## ● 主な取り組み

企業統治

リスクマネジメント

ステークホルダーとのコミュニケーション充実（株主・投資家、メディアなど）

社会や環境に配慮した責任ある調達方針

財務の健全性および透明性の確保

## ● KPI

コンプライアンス関連研修の受講率100%※

※ 当社グループの新入社員およびキャリア採用の正社員対象